

このたびは、北海道天塩高等学校のウェブページをご覧いただき、ありがとうございます。

本校は、日本海沿岸の最果て、最北端の稚内から南に70kmほどに位置する天塩町にあります。天塩町は、国内4番目の長流「天塩川」の最下流、河口部に面した漁業と酪農の町です。

本校は、昭和23年（1948年）に北海道留萌高等学校天塩分校として開校しました。昭和25年（1950年）天塩町立の北海道天塩高等学校定時制課程として独立してからは、昭和26年（1951年）に全日制課程の設置、昭和29年（1954年）に道立への移管、昭和57年（1982年）に定時制課程の閉課など幾多の変遷を経て、今日に至っております。令和8年度（2026年度）で78年目を迎えた、歴史と伝統ある高等学校です。この間、7,700名を超える卒業生が本校を巣立ち、未来を担う有為な人材として、地域はもとより、道内外における様々な分野で活躍されております。

校訓「身はすこやかにたくましく、清く正しく明朗で、知性豊かな人となれ」のもと、「真理を探究し創造する力を育てる」、「豊かな情操と強い意志を培う」、「強健な体力とたくましい実行力を養う」、「人格を磨きよりよき社会人を育成する」を学校教育目標に掲げ、教職員と生徒、保護者、地域が一丸となって創意工夫あふれる教育実践に取り組んでおります。

Society5.0時代が到来しつつあり、社会の変化が加速度を増し、複雑で予測困難となってきている中、生徒同士による学び合い、地域社会での多様な体験活動など、リアルな体験を通じて学ぶことの重要性が改めて注目されております。急激に変化する時代の中で育むべき資質・能力の育成に向け、本校においては、令和6年度（2024年度）から「北海道MA+CHプロジェクト（地学協働まちづくり推進事業）」の指定を受け、天塩町役場、筑波大学、麗澤大学、天塩高校メンター、天塩町商工会等と連携体制を構築し、「総合的な探究の時間」の充実を図っております。また、令和7年度（2025年度）に麗澤大学との高大連携に関する協定を締結し、相互に連携し、交流を深めることで、生徒の進路意識及び学習意欲を高めるとともに、大学の求める学生像及び教育内容への理解を深める取組を進めております。

なお、昨年度から公式インスタグラムにおいて、生徒の活躍や本校の教育実践を発信しております。ぜひ、あわせてご覧ください。今後とも引き続き、本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

令和8年（2026年）4月 北海道天塩高等学校 校長 佐藤 光洋